

補助金調査・評価シート [制度的補助]

補助金名等			
補助金の名称	職員処遇改善事業	No.	43
予算事業名	民間保育所運営助成事業		
予算科目	款 03民生費	項 02児童福祉費	目 02児童措置費
	節 19負担金補助及び交付金	細々節 08職員処遇改善費補助金	
部課名	健康福祉部子育て支援課	電話番号	049-251-2711 内線 344

補助金の根拠			
根拠条例等	条例		
	規則		
	要綱	富士見市民間保育所補助金交付要綱	
	その他		
開始年度	昭和 54 年度	終期の設定	<input type="checkbox"/> 有(年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 無
補助金の分類	<input type="checkbox"/> 事業費補助	<input checked="" type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> イベント等補助
	<input type="checkbox"/> 投資的補助	<input type="checkbox"/> 扶助費の補助	

補助金の概要	
目的 (何を対象にどのような成果を得たいのか。)	民間保育所で働く保育士の給与面の処遇を改善することで、職への定着を図り、保育所運営の安定化を図ることを目的とする。
導入の経緯 (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。)	民間保育所は公立保育所と比較すると給与水準が低く、保育士の確保及び定着化が困難となっているが、待機児童対策として民間保育所を確保し、公立・民間を問わず、平等な保育環境を整えるため本補助制度を導入した。
対象資格 (対象資格はどのようなものか。)	常勤職員を雇用する民間保育所
交付内容等 (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。)	常勤として働く職員一人につき年額35,000円を上限として交付。 申請時、職員名簿(勤務内容の判るもの)により確認
積算基礎 (予算額をどのように積算しているのか。)	平成22年度予算額 3,255 千円 93名 × 35,000円

補助割合等	
補助割合等の明示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 定額) <input type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。)
財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示)
上乗せ・横出し	<input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない
上乗せ・横出しがある場合の内容と金額	

交付実績とコスト		(単位: 件・円)		
項目	平成20年度(決算)	平成21年度(決算見込)	平成22年度(予算)	
交付(見込)件数	5件	5件	5件	
交付(見込)件数の増減要因		-	-	
決算(予算)額(A)	3,100,000	3,205,000	3,255,000	
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	3,100,000	3,255,000	
概算人件費(B)	21,700	21,769	21,763	
概算補助事業費(A+B)	3,121,700	3,226,769	3,276,763	
実績報告の確認(実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。)	職員の給与支払い状況表及び、職員の受領印リストで確認。			

事業環境等	
見直しの有無	<input type="checkbox"/> 有 (年度) <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※ 5年以内の見直しに限ります。
有⇒見直し内容 無⇒見直さない理由	公立保育所との格差是正に努めていくためには最低限必要な金額であるため、見直しをしていない。

廃止した場合の問題点 (廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など)	廃止した場合、民間保育所職員の給与水準が下がり、離職率が高くなる可能性があり、安定した保育所運営を維持できないことが考えられる。
---	--

評価			
評価項目		判断理由	評価
必要性	社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか	保育単価の切り下げもあり、安定した保育所運営を行うこと自体が難しくなっている。その中で良質の保育を維持するためには助成が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない
優先性	厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか	富士見市がこれまでに築いてきた独自の基準（保育の質）を維持していくためには実施する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い
有効性	目的に対して成果が出ているのか	富士見市独自の基準を満たした職員配置など、保育の質を確保すると共に、安定した保育所運営が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない
継続性	現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか	コスト削減にも限界がある一方、今後も保育所の需要は高くなると見込まれるため、継続することで、目的が達成できる。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない
所属長評価	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上継続 <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更） <input type="checkbox"/> 廃止（ 年度まで）		
	見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。 その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。		
	法人に対し、財務体質の改善等を促していくことが必要だが、運営費の縮減等のこともあり、総合的に検討していく。		